

# 平成22年度 事業計画

我が国の経済は企業業績、消費とも上向く気配に乏しく、雇用も不安定な状況が続くなど景気実感としては、なおも厳しい流れにあるものと思われます。

競馬を取り巻く情勢は、こうした影響による消費マインドの低下を受けて、発売金は伸び悩み、今後についても、なお予断を許さない状況が予想されるところです。

生産地におきましては、前年に比べて生産頭数にさほどの変化はなく、市場における取引は、1歳馬が比較的好調に推移したものの当歳馬は低調でした。購買者のニーズの変化が窺える結果となり、全体としては、売却総額の減少や平均価格の低下など、依然として厳しい状況にあるものと思われます。

こうした環境の下、当協会は引き続き厳正な登録業務にあたるとともに、安定的な事業の継続を図るため、経費の削減、業務の効率化など業務運営全般にわたる見直しに取り組みます。また、「公益法人制度改革関連三法」の施行や公益法人を取り巻く状況を踏まえ、公益財団法人認定のための準備を進めて参ります。

当協会は、これらの現状を念頭に、競馬及び軽種馬生産の振興、流通の促進に寄与するため、平成22年度において以下の事業を行います。

## 1 登録に関する計画

### (1) 血統及び繁殖登録

血統及び繁殖登録は、近年の登録頭数の動向等を踏まえ、それぞれ次の申込頭数を見込むとともに、その的確な審査・登録を実施し、登録証明書を交付します。

マイクロチップの埋め込みが普及したことから、マイクロチップが埋め込まれ、その確認ができた馬については、特徴再確認の審査を行わないこととします。また、特徴審査における芦毛の毛色判定について、毛根による遺伝子検査の結果を参考にこれを行うこととし、その検査を財団法人競走馬理化学研究所に依頼します。

① 血統登録

区 分	品 種		平成22年度申込 見込み頭数	平成21年度申込 見込み頭数
内国産馬	サラ系統	当歳	6, 635	6, 640
		1歳	340	390
		計	6, 975	7, 030
	アラ系統		5	10
	計		6, 980	7, 040
輸入馬			150	200

② 繁殖登録

区 分	品 種	性	平成22年度申込 見込み頭数	平成21年度申込 見込み頭数
血統登録 済みの馬	サラ系統	雄	25	30
		雌	1, 010	1, 130
		計	1, 035	1, 160
	アラ系統	雄	1	1
		雌	1	2
		計	2	3
輸入馬	雄		3	4
	雌		110	100
	計		113	104

(2) 血統書の発行

和文血統書(サラブレッド、その他の品種)、欧文血統書(サラブレッド)をインターネットで公開し、その内容を随時、更新します。

(3) 国際対応

① 国際血統書委員会 (ISBC) 年次会議への出席

9月下旬にイギリス、ニューマーケットで開催予定の国際血統書委員会年次会議にメンバーとして出席し、諸案件について協議します。

② アジア血統書会議 (ASBC) への出席

4月にオーストラリア、シドニーで開催予定のアジア血統書会議に議長国及び事務局として出席します。

③ アジア地域血統書承認のための査察等

国際血統書委員会のアジア地域代表として、必要とされる関係各国の現地査察や業務指導を行います。

## 2 情報システムに関する計画

### (1) システム化の推進

#### ① 業務効率化のためのシステムの改善と適切な管理運用

血統登録や馬名登録などの各種業務の効率的な処理のために必要なシステムの改善やプログラムの作成を行います。また、次期コンピュータシステムの導入に向けた調査に取り組むほか、競馬主催者団体等との間での安定的なデータ送受信を図るため、適切な管理運用を行います。

#### ② インターネット血統書の改善

インターネット血統書ほか各種情報について、一般閲覧者に対して、より利用しやすい環境を整えるとともに、適切に提供するための改善を行います。

#### ③ マイクロチップの有効活用

マイクロチップが個体識別の利用にとどまらず、個体に関する情報をいつでもどこでも引き出すことができるよう、その有効活用について基礎的な調査と開発を引き続き進めます。

### (2) 軽種馬情報の提供

① 血統情報をはじめとする各種情報について、競馬主催者団体、軽種馬生産者団体等に対してオンラインなどにより提供します。

② 「馬の健康手帳」に添付される個体確認書に二次元バーコードを個体ごとに印刷し、携帯電話の読み取り機能を用いることによる特徴図などの個体情報を提供します。

③ 「軽種馬統計」、「供用予定種雄馬名簿」等の印刷物を発行します。

## 3 馬名登録に関する計画

### (1) 馬名登録

近年の馬名登録の動向を踏まえ、次の件数を見込むとともに、迅速かつ適正な審査・登録を行います。

	見込み件数	
	平成 22 年	平成 21 年
馬名登録	7, 2 0 0	7, 3 0 0
馬名変更	2 3 0	2 4 0

## (2) 馬名登録連絡会の開催

日本中央競馬会、地方競馬全国協会の担当者と馬名登録に関する諸事項について協議する馬名登録連絡会を開催します。

## 4 DNA型検査に関する計画

血統及び個体識別の明確化を図るため、申込みを受けた産駒のすべて、繁殖登録をする馬のうち必要なものについて、毛根によるDNA型検査を実施します。平成22年は7,300頭を見込み、検査は（財）競走馬理化学研究所に委託します。

## 5 マイクロチップ利用定着化促進事業(仮称/特別会計)

マイクロチップを利用した効率的な個体識別による競馬の健全な発展と軽種馬生産経営の安定に資することを目的に、生産牧場等がマイクロチップを埋め込むのに必要な経費に対して助成金を交付します。また、マイクロチップを活用した軽種馬流通の活性化や軽種馬生産管理の合理化等に資するため、必要な調査等を行います。